

No.3187

冠雪の北アから山麓の紅葉を眺めつつ樹氷のなかを山頂めざす

四阿山 (2345^冠)

実施日 2024年11月8日
(金)

天候 晴れ

リーダー 宮崎 敏男

参加者 宮崎敏男 佐藤聡美 計2名

費用 JR新幹線12,520円(割引者8,764円)レンタカー 3,000円

タイム 菅平牧場駐車場(9:22)四阿山登山口(9:30)小四阿(10:38)中四阿(11:45)四阿山(13:13~57・昼食)中四阿(14:57)小四阿(15:49)四阿山登山口(16:45) 9.4km/↑872^冠/行動5h25m(休憩含7h15)

予定2日(雨)を延期して信州は秋晴れ晩秋の好天気。

ダボス菅平から40分の紅葉の林道歩きの人を好感じつつ我等は車を飛ばす。

菅平牧場駐車場から登山口は牧場のなか。登山口からシラカバ林を進み氷結した大明神沢の飛び石を渡り進むとじき四阿山に続く尾根の登り路となる。

やがて最初のピーク小四阿に、ここからは岩稜歩き。スイスの牧場のような根子岳を左に眺め、振り向けば白銀の頂き連なる北アが信州の山々と平野のバックに屏風絵のように見渡たせるでないか。

深田久弥がめでた百名山たる四阿山の景観のはじまりだ。

到着した中四阿からもまだ山頂は見えないが鞍部をはさみ山頂に続く尾根が大きな姿を現わした。しかもすっかり雪化粧して我らをぞくぞくさせる。

ここからトウヒ、シラビソでがすっきり樹氷の装いでジグザグの急登を囲み、所々現われる岩塔のある広場で絶景の眺望が時を忘れ魅了させる。

根子岳との分岐は山頂をのぞめる広場、山頂はもう一息だ。山頂には上州と信州の神様を祭るふたつ祠があった。立派な祠だ、山頂礼拝のあと境内風を避け陽光集めお昼ご飯を摂らせていただいた。

予定では根子岳経由の周回コースであったが、根子岳からの登山者情報では四阿山からの降路は積雪深くかなり時間を要し下山時間が日没に掛かる可能性大ため、ピストン下山に変更した。

下山時間も気象に恵まれ晩秋の光と影に彩られた山々の景観を友に今日の良き山行への想いを胸に麓をめざした。

(記&写真・宮崎 敏男)

(写真提供・佐藤 聡美)

私の一言(佐藤聡美さん)

山麓の紅葉にはじまり、北アルプスの山々が正に雲の上に連なって浮いている景色と樹氷のついた木々とうっすら積もった雪の上を歩く山行でした。

下山は釣瓶落としの夕暮れのなか、山頂も寒かったですですが充実した一日でした。

